



「こども」と「まち」が  
つながる

chigasaki kodomo cinema(ckc)は、茅ヶ崎に育まれた映画文化を背景に、「映画」を通じて子ども達の気付きを自発的に促し、“こども”と“まち”をつなげる活動を行なっています。  
映画はひとりひとりに役割があり、ひとりひとりが考えたことが活かされ、あわせて唯一無二の作品が生まれるもの。そんな映画づくりを通して、子ども達が持っている「ちから・おもい・考え」を引き出し「自分達で考え、つくり出していく」プロジェクトです。子ども達が目的に向かって突き進むプロセスをサポートしていきます。



## CKCサポーター会員募集

サポーター会員は、1口2千円/年(法人5000円/年)から参加することができます。皆様一人ひとりのご理解とご支援が、茅ヶ崎の将来を支えるこどもたちの夢や未来を形づくりします！

横浜銀行茅ヶ崎支店  
店番号 631  
口座番号 6241073  
口座名 chigasaki kodomo cinema

## chigasaki kodomo cinema 事務局

MAIL [chigasaki.kodomo.cinema@gmail.com](mailto:chigasaki.kodomo.cinema@gmail.com)  
TEL 090-3699-2739(西村)  
WEB <http://kodomo.cinema-festival.com>

イベントの詳細・申込は・・・

ちがさきこども映画祭



## 茅ヶ崎のこども×映画



Since 2016

主催:chigasaki kodomo cinema  
後援:茅ヶ崎市

# ちがさきこども映画祭・プロジェクト2019

## 1.「はじめまして」の日

- 顔合わせ -  
8月4日(日)

どんなことをするのかな。  
まず、あつまったお友達と  
ショートムービーを  
つくってみよう!



## 年間スケジュール

募集期間  
6月10日(月)~7月1日(月)

## 2.「つくってみよう」の日

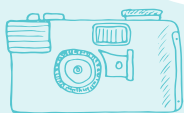
- 企画会議 -  
9月1日(日)

どんなお話の映画にしようかな。  
みんなで考えます。

## 3.「さがしてみよう」の日

- ロケハン -  
9月8日(日)

茅ヶ崎のまちにとびだして  
撮影したい場所を  
探しにいきます。  
どんな新しい発見に  
出会えるのかも楽しみです。



## 6&7.「まとめてみよう」の日 & 「よういしょう」の日

- 編集・チケット -

9月21日(土)・22日(日)

とってきた映像を切り取ったりつなげたり。  
こんな音が流れたらいいかな。  
みんなで話しあって  
ひとつの作品に仕上げます。

みんなで作った作品をお友達や、お父さんやお母さん、  
おじいちゃんやおばあちゃん、協力してくれた  
まちのひとたちにもてもらうために  
「第2回ちがさきこども映画祭」を開催します。  
楽しく映画を観てもらうためにどんな準備が必要かな?  
みんなで考え、用意します。

## 4&5.「とってみよう」の日

- 撮影 -

9月14日(土)・15日(日)

つくってみたお話、さがし出した場所で  
実際に「映画」をとってみます。  
カメラをかつぎ、音をひろい。  
どんな映画が撮れるかな。  
茅ヶ崎館という映画監督が  
映画をつくったところにとまって  
2日間、集中して行います。

## プログラム詳細

参加対象	小学校1年生~6年生
参加人数	5名1チーム
参加費	20,000円(8日間)
活動場所	Que (住所:茅ヶ崎市共恵1-6-1)

※このプログラムは8回全日程への参加が申込条件となります。

## 山口 理紗子 Risako Yamaguchi

茅ヶ崎は、「まち」を楽しみたくなるまちです。  
「まち」をどうすれば楽しめるのか。こどもたちが見ているもの、感じていること、こどもたち同士が考えてもらえるもの。そこから私達は沢山のヒントを学ぶことができますでしょう。私達CKCは、茅ヶ崎に生まれた映画文化を背景に「映画」というツールによって、こどもたちが茅ヶ崎をみつめることでこどもと「まち」が育まれる未来をサポートします。



CKC代表

## Message

参加者からのメッセージ



<2018参加者>  
ゴリラスターチーム  
せなくん

本物のカメラ、茅ヶ崎、QUE、  
でこぼん、おいしいお昼ごはん、話し合い、翼チーム、ゴリラスターチーム、言い合いとわかり合い、見守る大人、初演技、ロケ弁、暑い夏 大人は日向子は日陰、グリーンバック、友達、映画館、夢。このような思い出がたくさん詰まった映画になりました。

信頼できるckcの皆さんに見守られながら、ストーリーを作る  
ところから完成まで、子ども  
たちが話し合いで決定してい  
き、映画を完成させました。そ  
の過程で、いろいろなことが起  
こったと思います。それを乗り  
越えて完成させた映画と経験  
は、息子にとって忘れられない  
ものになったと思います。その  
ような貴重な経験を、一人でも  
多くの子どもたちに味わって  
ほしいです。  
(2018参加保護者/萩原早苗さん)

## 8.「みてもらおう」の日

第2回  
ちがさきこども映画祭  
10月20日(日)

わくわくどきどき、  
いよいよ、みんなにお披露目の日です。

